

2021年7月6日

国土交通大臣 赤羽一嘉様
国土交通省九州地方整備局長 村山一弥様
熊本県知事 蒲島郁夫様

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部明廣
緒方俊一郎
7・4 球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼香代子
市花保
美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃
子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会 代表 中島 康
連絡先 人吉市南泉田町1 岐部明廣
人吉市南泉田町25 鳥飼香代子
八代市萩原町1-2-7 出水晃
熊本市西区島崎4-5-13 中島康

球磨川・川辺川合流部への掘削土砂搬入 に関する抗議文

球磨川流域治水協議会による「緊急治水対策プロジェクト案」の提示以降、球磨川の本流や各支流では、堆積土砂の撤去が急ピッチで行われていますが、そのやり方に大きな問題があります。

まずは、球磨川・川辺川の合流部にある民有地に、掘削した大量の土砂を持ち込んでいます。ここは、昨年7月4日の豪雨で大氾濫した場所です。その氾濫原に大量の土砂を積み上げているわけですから、河道の断面積を狭め、流下能力を小さくし、洪水時の氾濫を増大させることとなります。積み上げられた土砂が大雨で流下したら、下流の球磨川は埋まり、氾濫をより増大させることとなります。直上流には民家や事業所もあります。

この件に関し、4月19日に国土交通大臣と熊本県知事に意見書を提出したのですが、何ら回答もなく、積み上げられた土砂は搬出されていないことに強く抗議します。球磨川・川辺川の合流部にある民有地に積み上げた土砂を早急に撤去するとともに、民有地を河川敷として買い上げ、氾濫原として保全することを強く求めます。

7月3日に静岡県熱海市で発生した土石流は、宅地造成のために盛り土された場所から起きたと報道されています。球磨川では全ての掘削土砂の置き場の安全性に問題はないのか、総点検することを要請します。

掘削した土砂の置き場に貴職が苦慮していることは理解できます。市房ダムでは流木を希望者に配布したと報道されていました。今後も大量に出る掘削土砂に関しても、住民のアイデアや意見を取り入れ、その利用法を再考すべきです。

また、各支流の堆積土砂の掘削の様子を見ると、河道の断面の逆台形を大きくするだけの工事が多く見られます。工事では、堆積土砂の搬出のあと、ICT建機で真っ平に整地し、川はまるでサッカーグラウンドのようです。川の水はその上を、広く、薄くチョロチョロと流れるだけです。魚や生き物は住めるわけがありません。確かに河道の断面積は大きくなり、その地点での流下能力は増やせるでしょうが、これでは下流にますます洪水が集中します。

河道掘削に関し、住民に何ら説明はなく、工事後の川を見た住民がびっくりしている状態です。河道掘削について実施前に地域の住民に説明するとともに、地域住民の意見をよく聞くべきです。

以上